世界の鍼灸コミュニケーション（6）
—世界鍼灸雑誌—
World Journal of Acupuncture-Moxibustion

黒須幸男
世界鍼灸学会連合会副会長、(社)全日本鍼灸学会参与

1. 創刊の経緯

本誌の発行母体であるWorld Federation of Acupuncture-Moxibustion societies(WFAS)：世界鍼灸学会連合会(世界鍼灸)は、1987年11月北京において設立され、1997年は10周年を迎えることになる。そこで、連携ニューヨークで開催された代議員総会(会員総会)で、恒例の国際シンポジウムを北京で行い、記念行事を併せて開催することが決定された。

さて、本誌は1990年12月パリで行われた世界鍼灸連行委員会で、学術雑誌を年4回発行することが決定され、その翌年の1991年6月、標記「World Journal of Acupuncture-Moxibustion」Vol.1が創刊された。しかしこの年度は発行するための体制が十分でなかったためか年1回の発行で終わった。1992年から1996年までは順調に発行されている。雑誌のサイズはA4であり、各号とも64ページであるが、時に65ページにわたることもある。内容はすべて英文である。なお、本誌の発行は独立採算制なので、希望者はだれでも予約購読ができる。

2. 雑誌の内容

本誌は、発刊以来最新号(Vol.6No.4／1996)に至るまで21号に及び、掲載された論文等の記事は総計325編にのぼる。そのうち、臨床観察185編(57%)、実験研究35編(11%)、鍼灸法8編(2.5%)、鍼灸教育20編(6%)、レビュー13編(4%)、短報26編(8%)、会員学会等紹介記事4編(1%)、器具2編(1%)、抜粋10編(3%)、ニュース8編(2.5%)、ほか14編(4%)である。

以上のように内容は臨床研究に関するものが大部分である。したがって、ここでは特に「臨床観察」での研究対象疾患について列記してみよう。

脳・神経系疾患では、顔面麻痺に関するものが8編、脳卒中5編、帯状疱疹4編、頭痛、脳梗塞及び坐骨神経痛各3編、神経性皮膚炎2編、脳障害、続発性肝硬化、肝不全、神経痛、顔面脳腫、眩暈、頭痛、偏頭痛、網膜疾患、網膜症など、神経系疾患についての記事が含まれる。精神系疾患では、精神分裂症2編、神経症、不眠症4編。

耳鼻咽喉科系疾患では、アレルギー性鼻炎、鼻出血、耳鳴り、喉頭発声の感じ各1編。

眼科系疾患では、視神経症、視神経症2編、若年性近視、眼瞼下垂、急性結膜炎、アレルギー性結膜炎4編。

呼吸器系疾患では、喘息2編、風邪、気管支炎、気管支拡張症各1編。

消化器系疾患では、胃下垂3編、胆囊2編、慢性萎縮性胃炎、慢性表層性胃炎、胃・十二指腸疾患、消化性潰瘍、難治性消化性潰瘍及び慢性胃炎、胃運
動障害、急性・慢性膿のう炎、過敏性結腸症候群、急性腹症、急性細菌性赤痢各1篇。
産婦人科系疾患では、月経困難症3篇、慢性骨盤炎、結節性無月経、急性乳薬炎、乳癌に形成、
閉経期症候群、分娩後尿留、不妊症、外陰部白班、妊娠嘔吐各1篇。

外科系疾患では、脳外傷、重症頭蓋骨損傷、足の壊疽、胃切除術各1篇。
泌尿器系疾患では、慢性前立腺炎、前立腺過形成、尿路結石症、尿滞留、インポテンツ、流行性出血熱各1篇。

整形外科系疾患では、頸部脊椎症8篇、頚椎円板切除術、脊髄圧迫、腰痛圧張、大腿四頭筋障害、
Restless legs syndrome、急性腰部捻挫、腰・下肢痛、背・腰部痛、整形外科後鎮痛、腰椎骨過成長、五十肩、軟部組織の急性捻挫、リウマチ性関節炎、大腿深部の変形性、急性軟部組織疾患、軟部組織障害、結合組織炎、スポーツ外傷、訓練外傷、各種疼痛(肩・頸・上肢・下肢・腰部)各1篇。
循環器系疾患では、冠状心疾患2篇、狭心症、不整脈、病的靜脈洞症候群、失神、老人性貧血、輸血、体液浸出に対する反応、低脈圧症候群、高血圧症、心電図と心機能、ベンゼン誘導による血球減少症、心包疾患時における電気薬の影響各1篇。
代謝・栄養・内分泌系疾患では、甲状腺炎、甲状腺機能不全症、甲状腺機能亢進症各1篇。
小児科系疾患では、小児夜尿症2篇、小児の薬物性難聴、小児消化不良症、小児下痢、小児麻痺各1篇。

中医学的病気群では、中医学症候群、脾虚、気血の調整、Bi・Tan・Wei各症候群各1篇。

その他では、オピオイド霧、エイズ、癌、免疫機能、経穴処方、経穴の低電気抵抗、抜髪、健康保持など14篇である。

治療法は多岐にわたり、いわゆる中国鍼法100、電気鍼14、灸12、耳鍼11、経穴注射10、吸気療法9、レーザー鍼7、頭鍼法、貼付療法、埋没療法(腸側、リンパ鍼使用)、瀉血各6、磁気療法5、灸頭鍼、推拿各3、刺絡、火鍼、挿针、圧迫各2、足鍼法、眼鍼、灸、梅花鍼、温灸法、赤外線、気功等各1篇である。以上のように中国鍼法と呼ばれることができるが圧倒的に多く、次いで電気鍼、灸、耳鍼、経穴注射が10〜14で、その他は1〜10である。
次にその他の項目について箇条書きに述べてみよう。

実験研究としては、ラットや家兎を使用しての基礎研究や臨床実験が主である。
・鍼麻酔は、頭蓋と大脳の手術に対する鍼麻酔に関するもの3篇、SSPによる歯科麻酔、四肢における整形外科麻酔等である。
・鍼教育は、鍼灸の基礎理論や臨床に関するシリーズが主なものである。
・短報は、すべて臨床報告である。
・抜髪は、主としてWHOや中国国内の鍼用語の標準化に関するものである。
・レビューや、臨床に関するものやエイズを含む免疫に関するものなどである。

3．最新号（Vol.6 No.4／1996）の目次

臨床の観察
(1) 頚部督脈他経の鍼灸による頚椎症205例治療の臨床観察(2) 高血圧症66例の透刺鍼治療における臨床観察(3) 鍼刺点の鍼による軟部組織の急性捻挫に対する治療効果の観察(4) 鍼と経穴ブロックによる末梢性顔面麻痺200例の臨床分析(5) 鍼による卒中・続発症99例の治療(6) 薬物投与の治療による神経の障害に対する観察(7) Xi pointの鍼による疼痛症例282例の治療効果における観察(8) 磁気回転式磁気発磁と赤外線照射による治療した大腿外側皮下神経の神経炎36例(9) 異常点刺針による原発性三叉神経痛35症例の治療

実験研究
(1) 老年者の赤血球免疫性と遊離基に対する薬物投与の効果を示す(2) EHFVに感染したラットの5-HTの変化と免疫機能における炎症の効果

短報
(1) 前脛腓剣帯運動障害11例に対する照海穴と丘墟穴の鍼灸治療
表1 発行元、発行形態・部数、購読料、購入方法

発行元：Editorial Department：World Journal of Acupuncture-Moxibustion
No.18 Beixinmcang, Dongcheng District,
Beijing 100700, P.R.China.
Tel：+86-1-401-4411 ext.2925
Fax：+86-1-401-3968

発行形態・部数：年4回発行　毎回1000部
雑誌の価額：各号$15.00 　1年$60.00
　2年$110 （航空・送料含む）
購入方法：小切手ないし為替で発行元に注文

4. 雑誌の評価

今日、鍼灸は伝統医学としてWHOでも高く評価され世界的に普及されている。このようなとき、世界の雑誌として「World Journal of Acupuncture-Moxibustion」が数年前に発刊されたことは鍼灸の学問的高揚のためきわめて意義のあることである。

本誌は発刊以来6年、その間21号を数えるまでになる投稿数も325編に及ぶが、執筆者はほとんど中国で、それに外の国では臨床観察及び研究研究が2編、文献が3編、会員学会紹介2編、それにニュースとしての投稿がわずか1件で、計10編（3％）にしか過ぎない。編集部が鍼のメッカ中国とはいえあまりにも少ない数である。内容的には日本はもとより世界には中国の研究に勝るとも劣らない立派な研究があるはずである。

本部でも各国からの投稿者を呼びかけていますようだが、まだその趣旨が十分伝わっていないのが現状である。本邦からの投稿者も今までに1人しかいないので、特に大学に席を置いている鍼灸関係の研究者や学位を取得されたかたはその成果を英文で投稿されることを望むものである。

なお、読者層は各国の鍼灸師、中医師、医師、研究者、その他である。

5. 雑誌中略論文の検索法

確かにところでは本誌のデータベースについては、かつてWHOが開発し作られた“TCMLARS”(Traditional Chinese Medicine Literature Analysis and Retrieval System)に収録されている。いまのところ総索引は発行されていないようである。